

8月31日 急速な戻りに入ったマイナンバー関連銘柄

先週は、疲れる日々でしたね。

いや、凄腕の皆さんにとっては、大漁の日々だったかもしれません。

これだけ変動率（ボラティリティ）が高い数日、というのもあまり経験できないですよ！

さて、今回の急落・戻り、という動きの中で、これまでと違うことがありました。

それは、中小型株も一緒に下がり、上がった、ということです。

これまでの展開なら、下がる時だけ一緒になって下がるのに、戻りを入れるときには戻らない！というのが小型株の一面で、それに個人投資家は愛想をつかせていたのですが、今回は動きましたね。

特に、密かに動いているのが、マイナンバー関連銘柄。

これが動いたのは、あまり新聞にも出ていませんが、参議院内閣委員会で、マイナンバーについて議論がされたことがきっかけです。

8月27日の内閣委員会で、民主党の藤本議員が、「マイナンバーカードを紛失してパスワードごと知られたらどうするの？」「生体認証の仕組みで FIDO ってのがあるんだけど、検討している？」と質問したところ、向井内閣審議官は、「話しは出ている。FIDO には、国内のかなり大手の企業が参加していることもあり、検討する必要がある」と答えたんですね。

FIDO、といえば、日本の総代理店は DDS（3782）。

半年前には 865 円までいっていたのが、先週ストップ高したのに、まだ 477 円。

他のマイナンバー関連も動いていますが、FIDO 絡みは DDS、そして提携先のジャパンシステムにも関係するかどうか？でしょう。